

「JPCA Show 2010」に短納期化・合理化を実現する製品群を出展 ～大日本スクリーン製造/MEBACS出展概要～

大日本スクリーン製造株式会社(本社:京都市上京区)のメディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー(社長:藤澤 恭平)と株式会社MEBACS(本社:東京都千代田区/社長:泉 映)は、2010年6月2日(水)から4日(金)まで東京・有明の東京ビッグサイトで開催される国際電子回路産業展「JPCA Show 2010」に出展。当社ブース(東6ホール 6K-11)において、豊富なラインアップの製品群により合理化と短納期化を実現する、さまざまなソリューションをご紹介します。

近年、プリント配線板業界では、携帯電話や各種デジタル家電の小型化・高機能化に伴い、パッケージ配線板をはじめとするあらゆる配線板において、さらなる高密度・高精細化が進む一方、フレキシブルプリント配線板(以下、FPC)の需要が着実に拡大するなど、多様化も同時に進行しています。そのため各配線板メーカーでは、高い品質と生産性の追求だけでなく、合理的な製造ラインの構築と厳密な工程管理が急務となっています。当社は、このような業界のニーズに応える製品をタイムリーに開発し、配線板メーカーが直面する多くの課題の解決に向けて取り組んできました。

今回の「JPCA Show 2010」において当社は、FPCの製造における大幅な工程短縮と合理化を実現し、急速な高まりを見せる環境保護への取り組みにも応える新製品として、レジストパターンニングシステム「EP-250」を発表。また、パッケージ配線板用などの高精細なドライフィルムレジストから、汎用レジスト、ソルダーレジストまで幅広く対応する直接描画装置「Mercurex(マーキュレックス)」のほか、ミドルエンドからハイエンドまでの多様な配線板の高速検査を実現する光学式外観検査システム「PIシリーズ」などをご紹介します。さらに、カラー最終外観検査装置「FPシリーズ」には、高度なカラー画像処理技術を誇る当社ならではの、業界初となるカラーデジタル補間機能[※]を搭載。より高い水準の検査品質を提供します。

当社は今回の「JPCA Show 2010」において、幅広いニーズに応えるさまざまな分野の製品を出展し、時代をけん引する数多くのソリューションを提案します。そして今後も、世界中のプリント配線板を取り巻くビジネスを見据え、関連業界のさらなる発展に貢献し続けます。

※ オプション



当社ブースのイメージ図

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 メディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー ビジネス統轄部 マーケティング・コミュニケーション課:
Tel 075-414-7610 Fax 075-417-2705 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目



EP-250

☆ これらの画像の印刷用データ (解像度300dpi) は、下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)

<出展概要 (動画、パネル、サンプルなどでご紹介) >

レジストパターンニングシステム

・ EP-250

FPCの銅面にレジストパターンを直接印刷する、業界唯一のシステム。フォトマスクが不要になり、露光や現像など複数のプロセスを削減できるため、製造工程を大幅に短縮できます。さらに、毎分3mの高速出力、低ランニングコスト、省スペースのほか、歩留まり・品質の向上と省力化に大きく貢献します。

直接描画装置

・ Mercurex 「LI-9000」 「LI-9000H」 「LI-9500H」

CADデータから直接レジスト上に回路パターンを描画するため、欠陥発生率の高いマスク露光工程が不要。自己キャリブレーションやスケリング補正などの充実した機能を搭載し、最小線幅15 μm L/S、線幅精度 $\pm 1 \mu\text{m}$ 、描画位置精度10 μm (3 σ)を実現しています。また、超高圧水銀灯の採用により、パッケージ配線板用の超微細パターンのドライフィルムレジスト、汎用レジスト、さらにはソルダーレジストに至るまでの幅広い用途に対応。大幅な納期短縮と歩留まりの向上に加え、コスト削減が可能です。

光学式外観検査システム

・ PIシリーズ「PI-9000H」 「PI-9000S」 「PI-9500」

複数線幅検査機能、マイクロショート欠陥検出機能 (MSD)、性能がさらに向上した比較オープン・ショート検査機能などを新たに搭載し、年々高まる検査精度への要求にいち早く対応。擬似欠陥の発生を抑制すると同時に、高精度の検査を可能にする充実したアプリケーションを搭載しています。また、「PI-9000H」では、新開発の画像処理ユニットにより、「PI-9000」に比べてさらに検査スループットが向上。ミドルエンドモデルの「PI-9000S」から、最小線幅7.5 μm 対応のハイエンドモデル「PI-9500」までの豊富なバリエーションをラインアップし、幅広い検査ニーズに応えます。

最終外観検査装置

・ FPシリーズ「FP-8200」

業界初のカラーデジタル補間機能 (オプション) を新たに開発。独自のカラー撮像システム、長年培ったカラー画像処理技術、自社開発のハードウェアエンジンにより、デジタル補間処理をフルカラーで実現しています。また、30 μm のカメラ分解能を15 μm に補間するなど、画像の鮮明度が大幅に向上。コントラストに優れた画像で検査できるため、特に配線板の各領域の境界部分における検査精度が向上するとともに、擬似欠陥の発生を抑制します。

プリント配線板製造工程向けワークフローシステム

・ Sentflow

製造工程における各装置のデータや情報を一元管理。リアルタイムで検査結果などを各工程にフィードバックできるため、生産ライン全体の品質・生産性の向上やコストダウンなど、工程管理の強化に貢献します。